

新興民主主義の安定

調査研究報告書

川中 豪 編

2009年3月

独立行政法人日本貿易振興機構
アジア経済研究所

調査研究報告書
地域研究センター 2008 - IV - 05
「新興民主主義の安定」研究会

はじめに

本書は 2008 年度にアジア経済研究所で実施した「新興民主主義の安定」研究会の報告書として作成されたものである。

これまで発展途上国を対象とした比較政治学の研究において、権威主義体制の成立や、権威主義体制の崩壊と民主化といった政治体制の変動を分析する政治変動論が大きな役割を占めてきた。しかし、「民主化の第 3 の波」がひと段落した 1990 年代半ばから、新しく誕生した民主主義体制が安定し、定着していくのはどのような条件のもとで可能かというような、「民主主義の定着」(democratic consolidation) の議論が広く行われるようになってきている。こうした比較政治学上の関心は、実際の新興民主主義の現実を反映したものである。少なからぬ新興民主主義国において、民主主義の制度が遵守されない、あるいは政治的停滞が発生し、そうした制度が十分に機能しないといった現象が発生していることと大きく関係している。新興民主主義の安定、あるいは不安定を説明することは、「民主化の第 3 の波」以降の発展途上国の政治を理解するカギと考えて間違いない。

本研究会では、民主主義、特に新興の民主主義が安定化する、あるいは不安定化するメカニズムを明らかにすることを最終的な目的としている。その方法としては、アジア経済研究所の伝統的な政治研究の手法である、各国の事例を記述しそこから一般化するという帰納的な方法ではなく、いくつかの前提からロジックを組み立て、理論を明確にした上で、そこから導き出される仮説を検証する、という演繹的な方法を試みている。本書は、そのロジックを作る基礎を確立するために既存研究を整理したものである。

なお、研究会には、本書の執筆者以外に、オブザーバーとして、近藤則夫、上谷直克、鈴木早苗、湊一樹の各氏にも参加いただき、執筆者たちの知識の拡充と問題意識の絞込みに大きく貢献いただいた。

2009 年 3 月

編者

目次

第 1 章	新興民主主義の安定	川中 豪 (地域研究センター) 1
第 2 章	分断社会における民主主義の安定：権力分有をめぐる議論の展開	中村 正志 (地域研究センター) 24
第 3 章	民主主義と違憲立法審査	間 寧 (地域研究センター) 39
第 4 章	憲法の政治経済学	川村 晃一 (地域研究センター) 49